

【報告】

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究

「人類学におけるマイクロ・マクロ系の連関」第1回国際ワークショップ

日時：

2015年5月27日（水）14時～16時

場所：

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3階マルチメディアセミナー室（306号室）

司会：西井涼子（AA研）

1) "Double conflicts and the problem of reconciliation in Thailand"

Prof.Chaiwat Satha-Anand (Thammasat University)

2) Comment

Keiko KURODA (ILCAA Joint Researcher, Kagoshima University)

3) Discussion

参加者：参加者22人（そのうち外国人3人）

内容：2004年以来コンフリクトが続く南タイ現状について、タイのムスリム問題の第一人者であるタマサート大学のチャイワット教授が講演を行った。すでに10年以上にわたる南タイ騒乱であるが、その間幾多の政権が代わり現在は軍事政権下にある。ムスリムと仏教徒の宗教紛争という見方では解決できない、政治的覇権をめぐる中央と地方の対立、紛争状況から派生する利権をめぐる経済的問題、長期化する紛争によるローカルなムスリムと仏教徒の関係の変化など、様々な複雑な状況がからまり、解決を困難にしているとの見方が示された。コメンテータの黒田氏からは、マレーシアとの国境を接する南タイ地域の歴史的なコンテキストについての補足説明がなされた。

当報告の内容は著者の著作物です。Copyrighted materials of the authors.